

学会主催の思い出

第6回 会長 前田 和 三 郎

私が第6回日本胸部外科学会を主宰したのは昭和28年10月31日（土）11月1日（日）の両日でした。題目を見ますと肺に関係のあるものが多いでしたが他に縦隔、食道、心臓大血管、麻酔、病態生理に関するものが可なり多数出て来ました。両日の昼の休息時間を利用して円卓討議を行い6つのテーマ（空洞切除、肺切除、膿胸其他、肺虚脱、麻酔、病態生理）にわけて約30分宛討議して貰いましたが中々の盛会でした。又宿題としてはアメリカから帰って来た笹本浩慶大助教授（当時）に胸部外科と心肺性動態をやって貰いましたが当時として甚だ有意義な講演でした。1日の夜は此後の日本の胸部外科を担って下さるとされる若い方40名余りを招待して“胸部外科の夢を語る”という自由座談会を催しました。

現在の心臓血管部門の進境は眼をみはるものがあるがその礎をなしたものと思う。

慶応義塾大学名誉教授